

教育
相談室

カウンセラーの窓から

子どもたちの日常は変わった？

短い夏休みも終わったある日、中学三年生の生徒が相談に訪れました。先の子もいます。先の生徒は、その後、家族と話ができ、時間帯を決めて使っていると、ほっとした表情で話してくれました。

「もう、スマホを触らせてもらえなくなりそう。学校が休校中に、暇だったから、お母さんのスマホを借りて動画をずっと見ていた。学校が始まったけど、どうしても見たくて長いこと使っていたら、勉強しないのならもう使わせないと怒られてしまった。」

勉強を後回しにしていたのは悪かったと思いつつも、母親の忠告を素直に聞けない、思春期の複雑な反発心もあって、誰かに話を聞いて欲しかったようでした。

学年が上がるにつれ、このままでは生活がだめになるという自覚が育まれ、主体的に何とかしようと動く



小学6年生「赤ちゃんの沐浴」

小学校高学年ぐらいからの、学校に行き辛くなった子どもたちの話を聴いている時、ゲームやインターネット（以下「ネット」）の世界に、自分の存在価値や居場所を見出している子に出会うことは珍しくありません。数年前ならば、手持ちのゲームや漫画に飽き、そ

のうち学校に顔を出すようになる子もいましたが、最近少し事情が違っているようです。

ネット上のゲームの中には「仲間」がいて、時には会話しながら交流して、「友だち」もいると話す子もいます。

一方で、家族からは食事が不規則になり、睡眠時間も削りゲーム中心の生活になって困っている、という深刻な話が寄せられます。

依存症を危惧して、「WiFiを切ってしまった」、「機器を隠した」等と聞くこともあります。力ずくの方法をとることで、親子関係がこじれ、当の子どもは深く落ち込んでしまうことがあります。

なぜなら、現実生活に人間関係のつまずきや何らかにストレスを抱えていて、ゲームや動画視聴がその子の「心の支え」になっていることがあるからです。

子どもたちがオンラインで学習したり動画を見たりゲームをしたりと、日常的にネットに触れる機会が増えている今、決して短くは無時間を費やして、子どもが何を何をしていくか、私たち大人から一歩歩み寄り、関心を持つて知るようにしていきたいと、話を聴きながら感じています。

(T・S 公認心理師)

キミは1人じゃない

ヤングテレフォンにお電話ください

南越支所 ☎23-6699

鯖丹支所 ☎52-6114

月～金 8:30～17:15
土・日・祝日、夜間は留守番電話にて対応します

保護センターでは、未成年の皆さんに係る相談を受け付けています。困った時、相談したいと思いついたその時に、気軽に相談してください。

丹南青少年愛護センター

「はぐみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習・スポーツ課
〒916-8666
鯖江市西山町13-1
TEL 53-2256

はぐみ

家庭教育を考えるシリーズ

発行
青少年健全育成鯖江市民会議
鯖江市教育委員会
鯖江市社会教育委員会
協力
丹南青少年愛護センター鯖丹支所

58号

子育てが変わる!?

～ネットと上手にお付き合い～



『さつまいもほり』かわだ保育所

『キャンプごっこ「お肉、焼けたかな？」』せきいんこども園



『選手宣誓』吉川小学校



『全集中でNIE実施中』東陽中学校

